

## GN 9120 Flex よくある質問

### Q. GN 9120 Flex って何？

GN 9120 Flex は、2002 年に発売された世界初 & 世界唯一の業務用完全コードレスヘッドセット “GN9020-Digital” の後継機種で、従来品の課題を克服し、さらにコンファレンス モード等の進化した機能を搭載した次世代型コードレスヘッドセットです。アンプ機能を内蔵しているため、4/4 モジュラー接続のほとんどの電話機に適合性を気にすることなく接続することが可能です。

### Q. GN 9120 Flex の製品構成は？

GN 9120 Flex は電話機や PC と接続するベースユニットとヘッドセットから成ります。その他の付属品としてテレホンコード、AC アダプターおよび耳掛けタイプに変更する為のアクセサリ “シュアフィット” が同梱されています。

PC に接続するには同梱の C29 PC コードで PC のサウンドカードへ接続することができます。(2004 年 7 月以前にご購入の場合は同梱の “C29 PC コードリクエストカード” を郵送、FAX またはメールの何れかでご返信の方に 1 本に限り、無料で送付しております)

### Q. 新機能のコンファレンス モードって何？

GN 9120 Flex は 1 台のベースユニットに最大 4 台までのヘッドセットをリンクさせることができます。これにより電話を使用しないときでも 4 台のヘッドセットが同時に会話ができます。さらにベースユニットを接続している電話機で電話をすれば、話し相手と 4 人が同時に会話に参加することができます。一度リンクすればそれぞれのヘッドセットが 150m の範囲内で自由に動き回れるので、会議室のいらない会議が可能です。実際に使用できる範囲は使用環境により若干異なります。コンタクトセンターなどでは、スーパーバイザーのヘッドセットをエージェントのベースユニットにリンクさせることにより簡単にモニターすることも可能です。

### Q. GN 9120 Flex の接続方法は？

電話機を受話器のポートとベースユニットを付属のテレホンコードを用いて接続します。取り外した受話器はベースユニットに接続可能でヘッドセットまたは受話器の任意の一方を使用することが出来ます。

ヘッドセットポート付の電話機の場合には受話器を外さずにベースユニットを接続してください。

コンタクトセンターなどでは、非常時のヘッドセットとして受話器の代わりに有線のヘッドセットをベースユニットに接続しておくことも出来ます。



## GN 9120 Flex よくある質問

### Q. GN 9120 Flex はパソコンにも接続できるの？

パソコンのサウンドカードに接続する場合には、付属のテレホンコードの代わりに C29 PC コードを用いて接続する事が可能です。(2004年7月以前にご購入の場合は同梱の“C29 PC コード リクエストカード”を郵送、FAX、メールの何れかでご返信の方に一本に限り無料で送付しております)

USB による接続の場合には、付属のテレホンコードの代わりに別売りの「カールコード CC1 (消費税込み価格 ¥2,100)」および「GN8110-USBxp (消費税込み価格 ¥11,500)」を用いて接続する事が可能です。

### Q. GN 9120 Flex の使用可能範囲は？

GN 9120 Flex はベースユニットから最大約 150m 以内の範囲で使用することが可能です。ヘッドセットには送受話音量調節のボタンが付いており、使用可能範囲内での調節が可能です。

実際に使用できる範囲は使用環境により若干異なります。

### Q. GN 9120 Flex の使用時間は？

GN 9120 Flex は GN 独自の SPM (Smart Power Management) 機能により最大 8 時間、使用することができます。SPM とはベースユニットとヘッドセットの距離を自動的に認識し、その距離が遠い時には出力を上げ、近い時には出力を抑えることにより消費電力をセーブする機能です。

### Q. GN 9120 Flex の音質は？セキュリティーは大丈夫？

前機種種の GN9020-Digital と同様に、GN 9120 Flex は周波数ホッピングを用いた周波数拡散方式を採用しています。64 ビットの符号により暗号化された音声データが、1 秒間に 90 回開いているチャンネルにホッピングすることによりクリアな音質と高いセキュリティーを実現しています。また、64 ビットの暗号化符号の使用および、SPM (スマート・パワー・マネージメント) により必要最小限の電波のみ出力するので、盗聴に非常に強いシステムです。

### Q. GN9020-Digital 専用オプションの GN 1000 RHL リモート・ハンドセット・リフターは GN 9120 Flex にも使えるの？

GN 1000 RHL (消費税込み価格 ¥10,290 別売) は GN9020-Digital および GN 9120 Flex の両方に対応しています。GN 1000 RHL を使用することにより、電話機から離れた場所においてもリモート操作により受話器の上げ下げが可能となります。



## GN 9120 Flex よくある質問

### Q. 音量調節やミュートなどはどのように行なうの？

GN 9120 Flex はヘッドセットに付いている 3 つのボタン（機能ボタン、音量+ボタン、音量 - ボタン）により各調節や機能の実行が可能です。

送話音量調節・・・音量+ボタン、音量 - ボタンを同時に押し、+/- 調節します。

受話音量調節・・・音量+ボタン、音量 - ボタンを使用します。

受話音質調節・・・機能ボタンを 6 秒間押し、音量+/- ボタンを使用します。

ミュート機能・・・音量 - ボタンを 1 秒間に 2 回押します。

コンファレンス機能・・・機能ボタンを使用します。

受話器の上げ下げ（GN 1000 RHL 使用時）・・・機能ボタンを使用します。

### Q. GN 9120 Flex は同一場所に何台まで設置できるの？

最大設置可能台数はベースユニットで 50 台までですが、使用環境により若干の差異があります。

50 台以上の台数になりますとホッピングしているデータ同士が衝突する可能性が大きくなり、音落ちやノイズの原因となり、動作保証しておりません。

### 告知音に関する質問

### Q. GN 9120 Flex を GN 1000 RHL と共に使用している場合には、電話機から離れた場所においても受話器の上げ下げが可能です。電話が鳴っているのをどのように知る事ができますか？

電話機が鳴ると GN 1000 RHL が関知し、ヘッドセットのレシーバーから告知音が聞こえます。電話に出るには、ヘッドセットの機能ボタンを 1 回押すだけで、リモート操作により GN 1000 RHL が受話器を持ち上げます。

### Q. ミュート機能が ON か OFF かはどのように知ることができるの？

ヘッドセットが ON の状態で音量 - ボタンを 1 秒間に 2 回押すとミュート（送話のカット）機能が ON となります。ミュート状態ではベースユニットのミュートランプが点灯し、ヘッドセットからは 15 秒毎に告知音が鳴ります。



## GN 9120 Flex よくある質問

### Q. 使用可能範囲から出てしまったらどうなるの？

GN 9120 Flex ヘッドセットは最大約 150m までベースユニットから離れる事が可能ですが、圏外に近づくと 10 秒毎にレシーバーより告知音がなります。この告知音が聞こえたらよりベースユニットに近づいてください。

### Q. 通話の途中でバッテリーがなくなったりすることはないの？

GN 9120 Flex はバッテリー残量が少なくなってくると、20 秒毎にレシーバーより告知音が鳴ります。告知音が聞こえてからすぐに切れることはありませんが、なるべく早めにヘッドセットをベースユニットに乗せ、再充電してください。

## バッテリーに関する質問

### Q. フル充電に係る時間は？

フル充電には 1.5 時間から 2 時間かかります。

### Q. 連続通話時間は？

フル充電の状態から約 12 時間の連続通話が可能です。

### Q. どんな種類のバッテリーを使用しているの？

充電式リチウムイオン電池 (3.7V max, 500mA) を使用しています。ユーザー様による交換も可能です。(「GN9120 交換用バッテリー 消費税込み価格 ¥5,250」別売)

### Q. 通話の途中でバッテリーがなくなったりすることはないの？

GN 9120 Flex はバッテリー残量が少なくなってくると、20 秒毎にレシーバーより告知音が鳴ります。告知音が聞こえてからすぐに切れることはありませんが、なるべく早めにヘッドセットをベースユニットに乗せ、再充電してください。

## GN 9120 Flex よくある質問



その他よくある質問

### Q. レシーバーから聞こえる自分の声が気になるのですが？

自身の声が聞こえるのは側音といい、自然な通話に必要な機能で、受話器にも側音がございます。

側音が大きくなる原因ですが、送話音量が大きすぎると考えられます。GN 9120 Flexは周囲の雑音を取り除くノイズキャンセル・マイクロホンを採用しており、適正なマイクロホンの位置は口元約指一本分のところとなります。マイクが口元より離れれば離れるほど送話音量が足りなくなる為、ベースユニット側面の送話音量調節スイッチを高めに設定してしまう事になります。送話音量が大きくなるとそれに伴いレシーバーに回りこむ側音の音量も大きくなり、回り込む自分の声が邪魔になる程になってしまうのです。